

We support the **ilc**

希望の ひかり 第60回

ILC（国際リニアコライダー）計画の各種
最新情報をお届けします

ILC誘致決定の見通し

ILC計画が世界の協力のもとに実現されるためには、ヨーロッパの素粒子物理の戦略にILCが盛り込まれることが必須となっており、年内に日本政府がILCに前向きな方向性を打ち出す必要があるとされています。

これまで、市では、国への要望活動や地元として受入環境の整備を積極的に進めていますが、ILC実現には広く国民および科学コミュニティの理解・支持を得ることが政府判断の大きな力になると考えています。

このため、市では、関係団体とも連携しながら、ILC関連の講演会やSNSなどを通じて地元の熱意を全国に発

信するとともに、「ILCサポーターズ6万人署名運動」や東北ILC準備室の活動支援などを通じて、政府判断の後押しとなるよう取り組みを行っています。

文部科学省は今年7月、日本学術会議に対し、ILCの学術的意義など5項目について、政府判断に向け早期に審議するよう依頼しました。同会議では、現在、回答案の作成が行われています。

また、9月には、超党派の国会議員連盟と自民党の関係機関などで構成するILC誘致実現連絡協議会が設立され、「政策横断の国家プロジェクト」としてILCを位置付けること「通常の科学技術予算の枠外で措置すること」などを決議し、第4次安倍改造内閣

ILC講演会「ILCの実現に向けて」

誘致の最新状況などを、市ILC推進室長が解説しますので、ぜひお越しください。

- 日時 11月24日(土) 午後2時～3時
- 主催 市立図書館、市ILC推進室
- 会場 水沢図書館 2階 視聴覚室
- 定員 80人
- 申込方法 参加には整理券が必要です。整理券は、市内5図書館およびILC推進室で配布しています。
- 問い合わせ 水沢図書館(☎33372)

で就任した柴山昌彦文部科学大臣、平井卓也科学技術担当大臣に申し入れを行いました。さらに、この連絡協議会では、10月に米国エネルギー省科学技術担当次官のポール・ダービー氏と意見交換を行い、米国の協力姿勢を確認しました。市としても、これまで、関係機関と連携し要望を重ねており、これら国内外の情勢を踏まえ、国として年内に前向きな判断があるものと期待しています。

ILCサポーターズ6万人署名運動展開中！

日本政府による国内誘致の意志表示期限が本年12月に迫るなか、政府の誘致判断を後押しするための“市民総参加の誘致運動”として、7月からスタートした「ILCサポーターズ6万人署名運動」。地区振興会や市内事業者の皆さんのご協力により、市で取りまとめた署名数は、10月末で4万人を超えました。6万人署名を目指して、引き続き募集しています！

対象 ILCの実現を応援する人（年齢、居住地などの制限はありません）

参加方法 署名用紙に氏名を記載のうえ、ILC推進室、各総合支所総務企画課または各地区センターに送付（メール・FAX・郵送・持参）

その他 ILCサポーターズ署名は無料です。サポーターズ宣言用紙は、ILCウェブサイトにも掲載していますが、ご連絡いただければ、郵送いたします。この署名は、東北ILC推進協議会を通じて、政府に届ける予定です。

また、署名運動と平行して、SNSによる参加も大募集します。

参加方法

- ①ハッシュタグ「#ILCサポーターズ」をつけてSNSで応援メッセージを投稿
- ②SNSでILCサポーターズ公式サイトを「いいね」する
- ③ILCサポーターズ公式サイト専用フォームから応援メッセージを送信

ILCサポーターズ公式サイトQRコード →



市内各種イベントで署名運動を展開中。写真は水沢産業まつりの様子

本コーナーでは、ILC計画について皆さんからの質問にお答えします。電子メール、ファクスでも気軽に質問ください。
■問い合わせ 本庁ILC推進室（内線442） ☎222033 ☐ilccity.oshu.iwate.jp